



2022-2023年度 ~ひとのために~
今自分ができることを今はじめよう



荻田ロータリークラブ

Weekly Journal 8

2022年9月1日
週報第1848号



Photograph 白石海岸

本日のプログラム<第2154回例会>

外来卓話





先週はお盆もあり、長期休暇された方、またはお休みもなく平日以上に忙しくお仕事をされた方々だと思いますが、私は 13. 14. 15 の 3 日間お休みを頂くことができました。その 3 日間のお休みですがコロナ禍もあり、墓参りと自宅で家族だけの BBQ を楽しむことができました。本来なら、子供を旅行に連れて行くことが毎年恒例ですが、コロナを理由に子供たちを旅行に行けないよう説得したおかげもあり、私にとってとてもお金を節約できたお盆休みでありました。

さて、今週の 22 日、甲子園夏の高校野球決勝戦が行われ、仙台育英高校が創立以来初の優勝を飾りました。仙台といえば東北ですが、日本全国民に於いては、いまだ東日本大震災、あの 2011 年 3 月 11 日のことが忘れられない悲しい記憶にあると思います。仙台育英の球児たちもそうですが、その保護者や関係者、また応援する方々も実際リアルに被災を経験された方もいたのではないのでしょうか。そんな想いのもと、東北魂を胸に選手たちが、本当に一生懸命がんばった結果だったのではないのでしょうか。また、惜しくも準優勝だった下関国際高校ですが、17 年前は部員数 11 人、グラウンドは荒れ放題、部室は落書きだらけの野球部でしたが、当時就任した新監督と共に、草むしりや部室の壁のペンキ塗りなどで、まずは練習の基本となる環境を整え、その後秋季大会の 1 勝を目標と掲げ、それからコツコツと勝ち抜くことで、甲子園に出場できるような強豪校へと育っていきました。また、2014 年からユニホームカラーを青と赤を基調に新調したのですが、青は荒波を乗り越える関門海峡をイメージ、赤は明治維新で活躍した長州藩の情熱の赤を表現したものであります。

この甲子園決勝戦をともに戦った両チームの共通点ですが、何もない状態からコツコツと努力を重ね、決してあきらめない気持ち、そして地元愛に満ちた心と情熱を持ち続けた、人間力の強さの集結から育んだ結果ではないかと思えます。また、連日の接戦で汗を流し、一生懸命プレーし、涙を流す高校球児を見られた方々も、それぞれ何かしらの熱いものと感動を、球児たちから学び体感した事ではないのでしょうか。

我々ロータリークラブは単年度制であります。毎年、社会情勢やロータリーとしての活動の仕方も変化しつつあり、その中で皆様も年齢を重ねます。別の意味で、二度と来ない貴重な 1 年間で毎年繰り返している事を把握したうえで、人生と共にもっともっと有意義で、実りある日々を積み重ねる事が大切であると、改めて感じる次第であります。

さらに、我々のロータリー活動を多くの皆様にブランドとして認識してもらうためには、社会人として「あたりまえのことをあたりまえにこなし」、「与えられた使命を全うすることが基本であります。その集結により、地域のためになる奉仕活動を地道に続けることで、「認知」してもらい、「信頼」してもらい、「好意」を持ってもらい、そして「期待」してもらう必要があります。そのような環境を高校球児達に負けないくらい、我々も日々情熱を燃やし、奉仕の理想の実現へと繋げていきたいと思う今日この頃であります。

会員増強委員会理事 廣田 琢磨 卓話

皆様、会員増強がなぜ必要だとおもいますか？ → 屏会員「会の運営をしていく為に活動資金が必要なのと、新しい風が入ることで会に変化も生まれ、発展していくと思うからです。」その通りです、ありがとうございます。ロータリークラブには「限界クラブ」という言葉があるのをご存じでしょうか。平均年齢 60 才以上、38 名以下のクラブの事らしいです。60 才以上になると会員増強に力を入れなくなる事で衰退して無くなっていくのだそうです。我が荻田ロータリークラブの平均年齢は 6 月末で 59.8 才でしたが 8 月で 59.0 才になりました。少し危機を脱しました。平均年齢を下げるためにも今年は 10 人増やしたいと思っています。候補者リストを作りたいと思いますので 1 人に 1~2 名候補者を書いていただきますのでご協力よろしくお願いたします。





皆さんこんにちは。只今ご紹介頂きました上田です。ちょうど1カ月ほど前に坂岡監事から「新入会員は新人卓話っていうのがあるからよろしくね」とお話を頂戴しました。どんなことを話すのか相談したところ、身の上話をすることが多いよということでした。僕はそこまで面白い経歴があるわけではないので、

仕事の話をした方がよいのかな等も思ったのですが、まずは僕の人となりを知って頂くことも大事かと思いましたので、簡単な自己紹介とこれまでの生い立ちをお話しさせていただきます。まずは、自己紹介になりますが、名前は上田隆一朗と申します。上下の「上」に田んぼの「田」、西郷隆盛の「隆」に漢数字の「一」、そして最後の一文字を良く間違われるのですが、右が月の「朗」らかと書きます。昭和62年6月2日生まれで今年35歳となりました。そして、2年前の2020年11月11日、月並みですが俗にいう良い夫婦の日に今の妻と結婚をしました。子供は残念ながらまだおりません。皆さんも記入された入会申込書に趣味と特技の欄があったかと思いますが、僕は趣味は釣りですと書かせて頂きました。釣りにハマったきっかけが苜田町になじみを生む形にもなったのですが、ここから近いトヨタの工場の先にある赤灯台という堤防に父に初めてチヌ釣りに連れていってもらったときに、子供のビギナーズラックで40センチ超のチヌを釣り上げてしまい、それから毎週末の休みに父に苜田のあそこ釣りに連れてって！とせがむ幼少期を過ごしました。ここまでが簡単な自己紹介となります。続いて私の生い立ちについてですが、昨年自分の住民票をとるとききっかけがあり、これまでの住所履歴が全て書かれてあるものだったので持ってきました。私の出生地の住所をご紹介させて頂くと「京都府苜田町京町二丁目（略）」と書かれております。福田さんはピンとくるかもしれませんが、現在の福田保険サービスの真裏に当たります。もっと詳しいことを言うと、福田保険サービスの交差点を山手に曲がると踏切が出てきますが、そのふもとにある長屋が私の生まれた場所ということです。皆さんもご存じかと思いますが、この場所は宇原神社のすぐそばであるため、僕の俗にいう氏神様は宇原神社らしく、父から「氏神様には毎年拝まなきゃだめだ」との教えをうけたこともあり毎年正月に参拝に行っております。その後、昭和63年11月、私が1歳半の頃に祖父が朽網のスワロータウンに現在の実家に当たる家を見て、父が祖父の長男であったこともあり、僕たち家族が移住することとなりました。なので、残念ながら苜田町には1年半くらしか住んでおらず、育ちは朽網ということになります。その後、東朽網小学校、南曾根中学校、小倉東高校に進学をしました。学生時代はスポーツ少年で、幼稚園から小学校はサッカー、中学校は部活でバスケットボール、そして高校時代がよくびっくりされるのですが、ボクシングをしておりました。この中で1番成績が良かったのがなんと高校時代のボクシン

グで、県大会2位、九州大会2位という成績を収めることができました。高校にはボクシング部はなかったのですが、門司に父の知り合いがボクシングジムを経営しており、中学時代にテレビで見たボクシングの試合に感銘を受け、父にボクシングをやりたいと相談したところ、そのボクシングジムを紹介してもらい、そこで学校終わりに門司まで通って練習し、会長からボクシングをより理解するためにということで一般会員さんのトレーナーを夜10時までやって帰宅するという高校時代を過ごしました。これほどボクシングにのめり込んでいたので、高校時代はプロボクサーを目指していましたが、先程申し上げたように県大会も九州大会も2位と決勝の大舞台で緊張してしまう勝負弱さを見せてしまい、こんな自分がプロでご飯を食べていくのは難しいだろうと挫折して断念し、大学進学を目指しましたが現役での合格は叶わず、1年間浪人後に熊本大学法学部に進学しました。大学進学後は、法律を勉強したのだから法律を扱う仕事したいと思うようになり、せっかくなら独立開業を目指せる資格と考え、当時弁護士は法科大学院の制度が始まったばかりで、家の経済状況では法科大学院への進学は厳しいこともあり、大学4年生から司法書士試験を受験し始めました。今考えるとものすごく安易な考えではあったのですが、合格率3%の試験ですので当然一発合格できず、司法書士以外の選択肢を持たずに就職活動もしていかっただけで、父に頭を下げて大学卒業後は実家に戻り、アルバイトをしながら司法書士試験を受験を続け5回目の試験でやっと合格しました。余談ではございますが、合格1年前の4回目の試験結果が合格点まであと1点足りずであり、司法書士となった今では笑い話ですが、当時は大学卒業から数年経っていたこともあって自分の人生に少し絶望しました。司法書士試験合格後は豊前市の事務所に入所し、丸4年間務めた後、平成31年4月1日に現事務所を開業致しました。開業後、よく「なんで苜田なの？」と聞かれることがありますが、そう聞かれた場合は「本音と建前どっちが聞きたいですか？」と返すようにしています。まず、綺麗ごとの建前をお話すると、出生地であり氏神様のいる町で、育ちも隣町で土地勘があったからと答えています。次に本音に関しては、人口約37,000人の苜田町に僕が開業するまでなぜか1名しか司法書士がおらず、司法書士のマーケットとして司法書士1名に対し人口5000人から10,000人であれば経営が成り立つと言われていたことから、苜田町は業界的にもブルーオーシャンの地だと考え苜田町を選びました。ここまでが私の生い立ちとなります。そして将来の話もさせて頂くと、現在自動車学校の近くに家を建築中で、1月末に完成予定となっており、来年には30数年ぶりに苜田町民となりまして、これからより一層苜田町のためにがんばっていきたくて思っております。また、宣伝となりますが、建築中の家の一室に妻のトリミングショップを設けることになっておりますので、犬を飼われている方はぜひご利用ください。最後にはなりますが、先輩方とは末永いお付き合いをさせて頂けたらと思っております。拙い話ではありましたが、ご清聴誠にありがとうございました。



ニコニコBOX

親睦委員長 井手口 貞治

- 高城 直紀 上田さん、城戸さん、廣田さんありがとうございました♪
- 坂岡 英俊 上田会員、廣田理事卓話ありがとうございました。城戸さんオブザーブ参加ありがとうございました。高城会長エレクトとお疲れ様でした。
- 屏 正隆 上田会員、卓話ありがとうございました。城戸さん是非入会お待ちしております。廣田会員、増強卓話ありがとうございました。
- 竹部 武男 本日の週報に写真を掲載してもらいました。ぜひ皆さんからの写真も募集しています。
- 井手口貞治 ニコニコします。
- 片岡 孝市 充実した例会でした。
- 緒方あかね 今日父の月命日です。
- 國永 修一 暑いです。頑張って乗り切りましょう。
- 河内山秀一 上田会員、新人卓話ありがとうございました。非常に楽しかったです。城戸さん入会お待ちしております。
- 藤川 哲晃 福田さんの長男(弘一さん)新築おめでとうございます。上田会員、卓話面白かったです。城戸さん入会お待ちしております。
- 桧 敬 ニコニコします。
- 上田隆一郎 新人卓話緊張しました。城戸さんお待ちしております。



菟田RC予定表

日	内容	場所
9/8	観月会	ブルーポートホテル
9/15	外来卓話 久保氏	〃
9/22	休会	
9/30	ガバナー補佐訪問	(注) 金曜日〃

<2022~2023 年度R I > 会長 : ジェニファー・ジョーンズ
 <第 2700 地区> ガバナー : 西島 英利
 <菟田ロータリークラブ> 会長 : 青木 政憲
 幹事 : 坂岡 英俊
 SAA : 渡邊 剛

<創 立> 昭和 51 年 6 月 28 日
 <例 会> 毎週金曜日 12 : 30~ブルーポートホテル TEL 093-475-8844
 <事務局> 菟田町京町 2-3-1 TEL 093-434-1488 FAX 093-434-6543
 e-mail kanda-rc@f4.dion.ne.jp URL:www.kanda-rc.com
 IT・週報委員会委員長 : 竹部 武男・中尾 則子・沓脱 壽

近隣クラブの例会変更

行 橋 R C

行橋みやこRC

田 川 R C

9月14日(水)→13日(火)芸術文化体験事業
 例会 : 青少年文化ホール大会議室 12時~
 公演 : 田川文化センター 14時~

豊 前 西 R C

9月16日(金) 観月会 (お昼移動例会) 未 定

豊 前 R C

9月8日(木)→観月会(夜間例会) 18:30~ニューい
ずみ